

岐阜県バドミントン協会

新型コロナウイルス感染防止大会運営マニュアル

新型コロナウイルス感染症感染防止のため、公益財団法人日本バドミントン協会が定めるバドミントン活動ガイドラインを踏まえ、「岐阜県バドミントン協会新型コロナウイルス感染防止大会運営マニュアル」を定め、大会運営を行う。

I 基本的な考え方

競技大会の開催は、当該マニュアル及び公益財団法人日本バドミントン協会が定めるバドミントン活動ガイドラインの他、岐阜県及び開催市町村及び体育館等のコロナ感染症対策に従い運営する。

なお、感染状況及び医療機関の状況によっては、開催の中止、無観客や大会関係者のみの限定など各所の指示に基づいた運営等を行う。

II 大会関係者（主催者）の留意事項

- ・会場施設管理者と施設利用ガイドライン及び感染症対策についての確認をする。特に収容人数制限に留意する。
- ・別表1「大会当日に関する確認事項(大会関係者向け)」に従い、各項の確認をする。
- ・参加団体代表者（指導者）及び参加者へ、感染症対策及び大会会場利用時のガイドライン等について周知する。
- ・大会当日、参加団体代表者（指導者）又は参加者に「大会参加関係者 健康管理票」の提出を求める。主催者は、一定期間（1か月程度）当該管理票を保管した後、廃棄する。
- ・大会関係者は、常時マスクを着用する。水分補給を促し、熱中症対策も講じる。
- ・開閉会式、表彰式など、参加者が密になる状態を避けるため、開催の有無など柔軟な対応を行う。
- ・大会関係者及び参加者全員に「厚生労働省：新型コロナウイルス接触確認アプリ」又は会場に表示されている「岐阜県感染警戒QRシステム」の活用を促す。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

III 大会運営に係る留意事項

1 受付時の留意事項

- ・体育館入場場所では、すべての参加者の検温を実施し、マスクの着用、アルコール等の手指消毒剤を徹底する。
- ・入場時、密とならないよう担当者を配置する。
- ・受付は、チーム代表者のみとする。
- ・受付場所に担当者を配置し、社会的距離（1m以上）を確保して並ぶよう促す。

2 大会本部及び関係者控室

- ・大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。
- ・関係者控室は、なるべく多くの部屋を確保し、密を避けるようにする。但し、確保が困難な場合は、飛散防止シート等の設置、利用人数の制限を行う。
- ・可能な限り常時、窓や扉を開放する。難しい場合は、換気をこまめに行う。
- ・運営物品や共用物等は、定期的に消毒を行う。

- ・大会会場で体調不良者が発生した際に、隔離待機させる部屋を用意する。
- ・本部席、記録室、放送室等利用する場合は四方を空けた席配置とする。
(利用者数は概ね 席数 の 1/ 2 とする)

3 競技会場（競技スペース）等

- ・遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
- ・窓や扉の開放ができない場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。
その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。
なお、常時換気できる設備がある場合は、可能な限り使用する。
- ・コートサイドには、選手が使用するカゴやドリンクケースを設置せず、各自バッグを持参させ、飲み物も各自バッグに収容させる。
- ・コートのモップ掛けは、ゲーム毎と試合終了後に行う。

4 観客席に係る留意事項

- ・主催者は観客席に、チーム席間隔を十分確保したうえで、チーム席場所の指定をする。
- ・同一チーム内参加者も接触を極力避け、最低1 m以上の距離を確保する。
- ・昼食弁当は、チーム席のみとする。

5 競技関係者及び競技中の留意事項

- ・主審、サービスジャッジ、線審、得点係等は、マスクを着用する。
また、試合開始前には必ず手指を消毒する。
- ・サービスジャッジ、線審は手袋（ビニール/ゴム）を必要に応じて使用する。
- ・選手同士や審判員との握手は行わない。
- ・トスは、フィジカルディスタンスを確保して行う。
- ・飛沫防止対策のためコールは、必要最小限とする。
 - ⇒「プレイ」「フォルト」「レット」「ゲーム」等で行う。
 - ⇒大会運営上支障のない場合サービスジャッジは、違反の種類を示す指定の合図を行い、コールはしない。
 - ⇒大会運営上支障のない場合、線審は、指定の合図を行い、コールをしない。
(主審とのアイコンタクトが重要)
 - ⇒大会運営上支障のない場合、得点板がある場合は、ポイントのコールをしない。
- ・シャトルの交換は、選手がシャトルを直接筒から取り出すか、シャトル係が手袋を着用して選手に渡す。シャトルの交換時は、選手が回収ボックスに入れる。

6 ゴミの処理

- ・大会運営上発生したゴミは、マスク・手袋を着用した上で回収し、破棄する。作業後は、必ず手を洗い、手指を消毒する。

IV 参加団体代表者（指導者）の留意事項

- ・所属する団体の選手・指導者・保護者へ、大会運営に係る感染症対策について周知する。
- ・別表2「感染症対策チェックリスト（団体代表者・指導者向け）」に従い、各項の確認をする。
- ・所属する団体の選手・指導者・保護者の健康状態を確認のうえ、別紙1（団体）「大会参加関係者 健康管理票」へ記録し、主催者へ提出する。

V 参加選手（VI以外の参加者）の留意事項

- ・参加選手は、別表3「感染症対策チェックリスト（選手向け）」に従い、各項の確認をする。
- ・参加選手は、健康状態を確認のうえ、別紙1「大会参加関係者 健康管理票」へ記録し、主催者へ提出する。

別表1

当日に関する確認事項(大会関係者向け)

- マスクの適切な着用がされている
- 会場の換気が適切に実施されている（定期的な換気又は窓・ドアの開放）
- 各所ドアの常時開放（ドアへの接触を防ぐため）
- 下駄箱の利用禁止（各自ビニール袋で自己管理）
- 入場可能者の管理・チェック（特定できない人が入らない様にする）
- 入場制限（当日周知掲示）
- 受付担当者はプログラムや関係資料などを受け取ったり手渡したりするため、手袋の着用など着用を検討されている
（受け渡す時に、机にいったん置いたものを受け取ってもらうようにするなどの対応を取る等）
- 人と人が対面する場所（受付・本部席等）密にならないような工夫がされている
十分なスペースが確保できない場合は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽されている（定期的な消毒を実施する）
- 会場内で、咳など体調不良の症状がある人の巡回を行う
（必要に応じて検温し、帰宅してもらう）
- 全てのゴミの持ち帰りの事前周知（場合によってはゴミ箱の撤去をする）
- 利用者に食事場所が周知されており、遵守されている
- 役員審判控室や更衣室・洗面所など人数制限を行い、適切に守られている
- 更衣室・洗面所の利用ルールが守られている
- 待機位置の目印や案内の設置
- 選手控え利用場所の観客席などの区画指定、案内がされている
- 各所に消毒剤が適切に準備・設置されている
- 施設の定期的な消毒（洗面台・観客席・手すり・机・椅子等）がされている
- 筆記具・ボード、など共用品の定期的な消毒がされている。
- 毎試合終了後、審判台・サービスジャッジ席・線審席・コーチ席・サービス高測定器・得点板等を消毒のうえ、コートにモップを掛けて退場している

別表2

当日に関する確認事項(代表者・選手向け)

- 外出前に健康状態管理表を確認又は記入する(受付時に提出)
 - 37.5℃以上で、体調に異変を感じた時には参加を中止する
(棄権の時は会場に行かず、メール及び電話で伝える)
 - 外履きは袋に入れて自分の手元に置く(下駄箱の使用しない)
 - 観戦は、指定された場所や席、または距離を空けて行い、席は移動しない
 - 待機時など試合以外はマスク着用する。
 - ウォーミングアップは、距離を空けて行う。
 - コートへの入退場時は一定の距離を保った上で、指定の時間にコートに入る
 - 挨拶の際は十分な距離を取り、審判・選手と握手は行わない
 - 試合中、意図的な声出しを極力しない。
 - コートサイドには各自バッグ等を持参し、飲み物も各自のバッグに収容する
 - ラケット、タオルの貸借をしない
 - 汗をコート・コートサイドに投げることは絶対にしない
 - 汗拭きはモップもしくは所定の用具を使用し行う
 - 飲料を万が一溢したときにはモップで拭き取る(自身のタオルを使用しない)
 - シューズの裏を手で拭くことはしない
 - プレーヤーまたはコーチとハイタッチ等を行わない
 - コーチングは一定の距離を保った上で、必要最小限に短時間で行う
 - 更衣室での密を避けるためにも定員が設定されている場合は遵守する
 - 更衣室の利用については、施設管理者や大会主催者が定める基準に従い、人数制限・利用方法を定める。
 - 施設にある手指乾燥機は使用しない
 - 試合が終了したら(負けたら)、試合を観戦や応援をせずに、速やかに帰宅する
 - 全てのゴミの持ち帰り自宅で処分する(感染症拡散防止の観点から)
- ※感染症対策を遵守し、37.5℃以上あるなど体温に異常がみられる場合や、体調が優れない場合には大会会場へ行かずに棄権してください。クラスターを発生させないことが、最優先です。

大会参加関係者 健康管理票

※本票はチームの責任者の方が提出してください。

<期 日> 月 日()

<所属名>

<所属責任者名>

<緊急連絡先>

[ご自身の健康状態等の開催日前 14 日以内 について、以下の質問にお答えください。]

- ①本日の体温。発熱はありません。(体温37.5℃未満かつ平熱+1℃未満です。)
- ②体調は良好です。(咳・倦怠感・息苦しさ・味覚障害などの症状はありません。)
- ③家族や身近な知人等にコロナ感染疑い者はいません。
- ④保健所から自宅待機を要請されていません。
- ⑤過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航、または当該在住者との濃厚接触はありません。

↓「○」を記入

| | 氏 名 | 本日の検温 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|----|-----|-------|---|---|---|---|---|
| 1 | | ℃ | | | | | |
| 2 | | ℃ | | | | | |
| 3 | | ℃ | | | | | |
| 4 | | ℃ | | | | | |
| 5 | | ℃ | | | | | |
| 6 | | ℃ | | | | | |
| 7 | | ℃ | | | | | |
| 8 | | ℃ | | | | | |
| 9 | | ℃ | | | | | |
| 10 | | ℃ | | | | | |
| 11 | | ℃ | | | | | |
| 12 | | ℃ | | | | | |

※本健康管理票は、本競技会において新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、参加者の健康状態を確認することを目的としており、記入いただいた個人情報については、必要な連絡のためのみに利用し、所定の保管期間後は適切に処分します。ただし、競技会実施会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

大会参加関係者 健康管理票

<期 日> 月 日()

| | | | |
|-----|--|------|--|
| 氏 名 | | 電話番号 | |
| 住 所 | | 年 齢 | |

[ご自身の健康状態等の開催日前 14 日以内 について、以下の質問にお答えください。]

※「○を記入」

| 質 問 | 回 答 |
|---|-----|
| 本日の検温 | ℃ |
| ①発熱はありません。(体温 37.5℃未満かつ平熱+1℃未満です。) | |
| ②体調は良好です。(咳・倦怠感・息苦しさ・味覚障害などの症状はありません。) | |
| ③家族や身近な知人等にコロナ感染疑い者はいません。 | |
| ④保健所から自宅待機を要請されていません。 | |
| ⑤過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航、または当該在住者との濃厚接触はありません。 | |

※本健康管理票は、本競技会において新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、参加者の健康状態を確認することを目的としており、記入いただいた個人情報については、必要な連絡のためだけに利用し、所定の保管期間後は適切に処分します。ただし、競技会実施会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要範囲で保健所等に提供することがあります。

大会参加関係者 健康管理票

<期 日> 月 日()

| | | | |
|-----|--|------|--|
| 氏 名 | | 電話番号 | |
| 住 所 | | 年 齢 | |

[ご自身の健康状態等の開催日前 14 日以内 について、以下の質問にお答えください。]

※「○を記入」

| 質 問 | 回 答 |
|---|-----|
| 本日の検温 | ℃ |
| ①発熱はありません。(体温 37.5℃未満かつ平熱+1℃未満です。) | |
| ②体調は良好です。(咳・倦怠感・息苦しさ・味覚障害などの症状はありません。) | |
| ③家族や身近な知人等にコロナ感染疑い者はいません。 | |
| ④保健所から自宅待機を要請されていません。 | |
| ⑤過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航、または当該在住者との濃厚接触はありません。 | |

※本健康管理票は、本競技会において新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、参加者の健康状態を確認することを目的としており、記入いただいた個人情報については、必要な連絡のためだけに利用し、所定の保管期間後は適切に処分します。ただし、競技会実施会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要範囲で保健所等に提供することがあります